

# 高齢者のやまねの家 やまね

## だより 36号



### 楽しかったクリスマス

12月24日「やまね」のクリスマス会が小さい子どもから高齢者まで18名が参加して開かれました。

サンタからのプレゼント、子どもの歌や演奏それに“まるまる もりもり”の踊り、そのあと、みんなでお手玉遊びをしました。

お手玉遊びは、唱歌を歌い隣の人に順々に送るのですが、どうしてもある人のところでたまってしまいます。

“早く回して”と催促され、そこでたまったお手玉をいっぺんに隣に渡すが、またつぎつぎとその人のところにたまる。その様子を見て、早く早くとみんなが声援しながら大笑いしました。

最後は、ビンゴゲームでクリスマス会を終えました。



発行者 ボランティアグループ なの花  
会長 森田 元治  
発行所 792-0834 新居浜市中西町 16-20  
「やまね」Tel 0897 41-0104  
発行日 2012. 1. 30

### 「やまね」は

高齢者が気軽に立ち寄ってお茶でも飲みながら世間話や五目並べそれに編み物などをして遊び心で過ごせる趣味の場です。

自分の思い語れるサロンでもあります。

来ていただくとボランティアが居ます。

それぞれが来たいときに来て、帰りたいときに帰る仕組みです。

利用料として300円を頂いております。

### 角野保育園生活発表会

12月8日角野保育園の園児の生活発表があり、やまねにも案内いただき参観させていただきました。

こどもたちのいっしょうけんめいの劇に、会場のいっぱい父兄やおじいさんおばあさんから盛んな拍手がありました。

とくに、父母の顔を見ると、舞台から園児がサインを送っていたのは、ほほえましい状況でした。



### アルミ空き缶のご提供に感謝

アルミ空き缶やプルタブを多くの市民のみなさんにご提供いただいていることに心より感謝申し上げます。

これからもよろしくお願い申し上げます。



## 地域応援セミナー

1月14日“地域応援セミナー とうよ”が前年の南予に続いてことしは新居浜文化センタ中ホールを主会場に開かれました。

東予4市1町の若者が“集う 語ろう 創ろう 未来の故郷”をめざして自分たちがやっている町づくり 人づくりを発表しました。

共通していることは、若い人を地元呼び止めるにはどうしたらよいかということでした。

そのためには、若い人に魅力を持ってもらえる産業・商業を活性化させる町づくりが必要ということです。

新居浜は「浜ちよぼ」の活動を発表しました。四国中央市、西条、今治それに上島の発表がありました。

発表したボランティア団体の中には、後継の人材が育たないという悩みがあることが分かりました。



## 寒行托鉢

毎年大寒の時期になると、近くの瑞応寺の修行僧による寒行托鉢があります。

ことしは、大寒を前にした19日、ぞうり履きの修行僧10名あまりが“ほおー”という独特の声を出しながら家庭を回っていました。

玄関先では、家内安全と思われる短いお経を唱えてくれます。

家庭では心ばかりのお布施をします。やまねにも来てしてもらいました。



## 東日本大震災やがて1年 阪神淡路大震災から17年

いまでも、テレビの画面に写し出された大津波の様子が思い出されます。

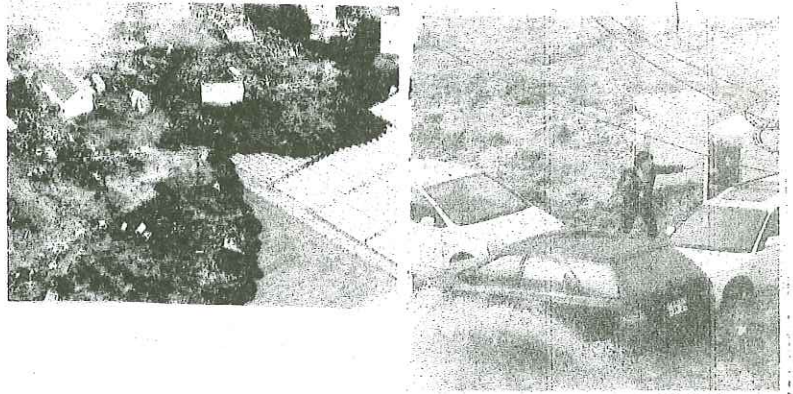
東日本大震災はやがて1年になるが、大津波が押し寄せてくるその直前を車で逃げていた人はどうなったのだろうかと思うと心が痛みます。

東北の震災の被災者は、生活の基盤を無くしてしまい家族がいっしょに暮らせなくなっている方もいます。

地震・津波→原発事故。天災と人災。

いまとくに、原発事故が被災者の前に大きく立ちのぼり復興を遅らせています。

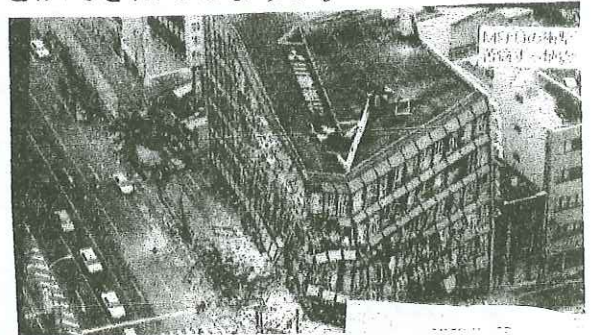
わたしは、遠方から言葉での応援しかできません。そういう自分をもどかしく思っています。



## 阪神淡路震災から17年がたちました

家族の災害による悲しみは、いまでも癒えることがないと、1月17日の慰霊のイベントに参加された方が語っていました。

二つの大地震災害から私たちは、何を学ぶことができたのでしょうか。



## やまねは開設7周年を迎えます

やまねはことし3月に7周年になります。

3月に7周年記念イベントを予定しています。

後日、開催のご案内をいたしますので、多数の参加をお待ちしています